

日中社会学会 第32回大会 プログラム

2020年11月21日(土曜日) 12:10~18:00 ZOOM開催

開催校(会津大学)

開会式: 12:10~12:30 (会場A)

司会: 中村圭先生(成城大学)

- 1、会長挨拶 南 裕子先生(一橋大学)
- 2、中日社会学会の参加者を代表して挨拶 朱安新先生(南京大学)
- 3、大会委員長挨拶 池本淳一先生(会津大学)

会場A

会場	時間	司会(敬称略)	発表者	題名
A1	12:40 ~ 14:10	鄭 南 吉林大学	張申童 名古屋大学人文学研究科 劉コウ 名古屋大学人文学研究科 浅野慎一 神戸大学	① 中国系新移民の社会空間の構築について—名古屋春節祭を中心に ② 戦後日本における「引揚者」の法的主体の形成について ③ 中国残留日本人孤児にみる歴史問題の和解と市民運動
A2	14:20 ~ 15:50	桜井義秀 北海道大学	趙夢盈 大阪大学人間科学研究科 李行健 北海道大学文学院 シャザディグリ シャウティ 青山学院大学	① 日本における仏教寺院、これからの行方—台湾仏教との比較から見る— ② 西安市の仏教寺院をめぐる空間の生産と消滅—政教関係を中心に— ③ 中国新疆ウイグル自治区サードエイジャーの規範意識とその構造
A3	16:00 ~ 18:00	佐藤千歳 北海商科大学	周筱 筑波大学人文社会科学研究科 山崎哲 一橋大学大学院社会学研究科 翁康健 北海道大学大学院 鄭南 吉林大学	① 「幼女買春罪」をめぐる存廃論争における「幼女」のゆくえ—「貴州事件」の司法手続きにおける法学者とマスメディアの言説を中心に— ② NHKが伝えた中国帰国者三世—「帰国」の意味をめぐる— ③ タイ社会における華人宗教の動態 ④ 長崎中華街の発展と社会組織の変容—地域の共同性から公共性へ

会場 B

会場	時間	司会	発表者	題名
B 1	12:40 ~ 14:10	朱安新 南京大学	包 敏 東京医科歯科大学教養部 楊映雪 東京大学教育学研究科 孔擎噉・楊非凡 東京農工大学大学院	① ポストコロナ時代における中国高齢化対策の展望 ② 高齢社会における世代間交流と社区づくりについて：日中比較を中心に ③ 農村部と都市部にける高齢者の生活満足度及び影響要因に関する比較研究 —中国7省の調査に基づく—
B 2 English session	14:20 ~ 15:50	伍嘉誠 北海道大学	CHEN CHUANGBIN (陳創斌) 東京農工大学 Kenichi Ishii (石井健一) 文教大学情報学部 Xiaoyin Wang (王晓音) 慶應義塾大学大学院	① The food safety problem of Waste Cooking Oil issue in China: based on the relevant 205 criminal judgements ② The new coronavirus epidemic and people's trust in information ③ Highly Skilled Chinese in Japan: Transnational Networks and Global Mobility
B3	16:00 ~ 17:30	浜本 篤史 早稲田大学	張思宇 関西学院大学社会学研究科 斯日古楞 新潟大学 木下光弘 中央大学	① 日中における環境意識の比較 ② 内モンゴル北東部地域における「半農半牧」の実態について —ホルソテイ（呼嚕斯泰）ガチャ（嘎查）の農耕化を事例に— ③ 内モンゴルの地下資源開発に関する調査報告

会場 C

会場	時間	司会	発表者	題目
C1	12:40 ~ 14:10	松谷実のり 追手門学院 大学	周楊 上海建橋学院外国語学院 郭笑蕾 慶應義塾大学社会学研究科 楊 芳溟 関西学院大学社会学研究科	① 日本企業の管理制度と女性育成 ② 日中国際結婚女性の定住意識と移動経験に関する考察 —Social Anchoring 概念を手がかりにして— ③ 在日中国人の社会的適応の研究にめぐってスキーマ理論を用いる可能性の検討
C2	14:20 ~ 15:50	李 暁東 島根県立大 学	呉 桐 京都大学教育学研究科 王星星 早稲田大学 社会科学研究科 華京碩 龍谷大学社会学研究科	① 「日本モダン」の構築 ② 中国における前近代性の「ソーシャル・ガバナンス」 —天津広仁堂を巡る可能性についての考察— ③ 満州における日本の軍政対立と新聞人に関する研究 —営口『満州日報』の日本人新聞人をめぐって—
C3	16:00 ~ 18:00	唐 燕霞 愛知大学	LI SUHAN 李谿焔早稲田大学・人間科学 研究科 丁名揚・野上亮 筑波大学大学院 川村潤子 名古屋大学人文学研究科 華金玲 慶應義塾大学	① 農村労働力移動の日中比較 ② 居場所という支援教育の実践—中国「素質教育」における学習者同士での支え合いを通じての学力保障— ③ 農民工子弟学校の果たした役割—H市の民工子弟学校の終焉を迎えるにあたって— ④ 中国 5G 産業政策の戦略的位置づけとその形成要因

18:15~20:00 オンライン懇親会（まずは会場 A にご参集ください）

会場 A、会長、大会開催責任者、来賓のご挨拶、
次年度開催校（関西学院大学）挨拶

後半：自由トーク（ご自由に往来ください）

会場 A、メインフロア、フリートーク

会場 B、お互い研究についてのお悩みを交換する小部屋

会場 C、献杯・中村則弘先生の思い出を語る小部屋

(20:00 終了 各会場ごとに解散)

【必読】 オンライン学会大会 運営の手引き

【視聴について】

入室（視聴）時には、ZOOM の表示名に氏名の表記をお願いいたします。無記名の場合はチャットで視聴資格の確認を行った後、アクセス禁止にさせていただくことがあります。


一般参加の視聴者の方は、画面・オーディオ（音声）とも、オフになっています。自分でオンにすることはできません。ホスト側の操作でのみ、オンにすることができます。質疑応答などで指名されたさいには、ホスト側で音声・動画をオンにしますので、そのまま質疑を行ってください。



【ミーティング（研究発表）中のホストへの問い合わせについて】

視聴者の方は音声・ビデオともにオフになっていますので、問い合わせ等はチャットでホストまで送信してください。

送信方法：画面下の「チャット」アイコンをクリック、チャット画面下の「送信先」からホスト（会場 A～B、あるいはサポートスタッフと表記されているもの）を選択し、チャットにメッセージを入力して送信してください。

【質疑応答について】

質疑応答のさい、質問のある方は、挙手の代わりに「手のひら」マークを表示してください。

手のひらマーク表示方法：画面左下の「参加者」をクリック→右に参加者一覧が表示されます。その一番下の「手を上げる」（あるいは「…」の中の「手をあげる」）をクリック→「参加者」の自分のアイコンに手のひらマークが表示。

【司会者・発表者の方へ】

セッション開始 5 分前（あるいは前のセッションが終了していれば、その時点から）から、簡単な打ち合わせを行いますので、セッション開始 10 分前には発表会場に入室してください。その際、お名前の前に「司会者・日中太郎」「発表者・会津白虎子」など、司会者・発表者と入れてください（ホストがどなたが司会者・発表者か、見つけやすくするためです）。

発表者の方は打ち合わせ中に画面共有など、発表のための確認動作が可能ですので、遅れずにご入場お願いいたします。

1. 音声・動画のオン／オフについて

司会者・発表者のみ、音声・動画を自分でオンにすることが可能です。適宜、画面や音声をオンにして、発表に備えてください。

なお他の発表者が発表しているときは、音声は手動でオフにしてください。

音声・動画のオン／オフの切り替え方法：画面左下の「オーディオ」「ビデオ」をクリック

2. 発表は司会者の呼び込み（発表お願いいたします等）後から、持ち時間のカウントダウン（30分。会津大学側のホストが計っています）が始まります。時間経過に従い、ホストから「あと5分です」等のアナウンスが入ります。20分経過すると「20分経過しました。発表を終了してください」等のアナウンスが入りますので、発表者の方は手短に発表をまとめて終了してください。

発表終了後の質疑応答への以降、質疑応答での質問者の指名等は、司会者の方をお願いいたします。

なお発表開始から30分経過しますと、ホスト側で質問者、発表者の音声・動画をオフにします。司会者の方はすみやかに次の発表者の呼び込みをお願いいたします。

3. 【司会者の方へ】

発表は非常にタイトなスケジュールとなっております。セッションの紹介や、発表者の紹介・呼び込みなどの時間はタイムスケジュールに含まれておりませんので、なるべく手短をお願いいたします。

なおセッションの終了時間が5分オーバーした時点で、次のセッションの準備等のため、その時点で音声・動画をすべてオフにさせていただきますのでご了承ください。

（池本淳一、会津大学）